

5月分相談対応報告

団体名：一般財団法人 北海道国際交流センター

●今月の照会・相談対応全体に対する所感(注:具体的に記載して下さい。)

今年から、北海道全域をスムーズにカバーできるように、札幌および函館での相談業務を行った。今までは電話やメールでの対応が多かったが、札幌近郊の人にとっては直接相談できる体制がメリットとなっている。また、本体事業として、各関係機関との連携について、より密接なものとするために、北海道NGOネットワークの事務局機能を担い、また開発教育や国際協力団体のサポートも行うことで、北海道全体のNGOの底上げに貢献する。そのことで、スムーズなNGO相談員業務が行われるようになり、きめ細かい対応ができるようになった。今月の相談でも、学生をはじめ、退職してから何かを始めようとする人まで、幅広い相談業務にあたった。今後も多くの人にNGO相談員制度を利用していただけるように広報を積極的に展開してゆきたい。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、3件記載下さい。

標題	海外ボランティアのNGOについて
相談内容	大学を休学して海外でボランティアをしたいが情報が欲しい。地域は主にアジア、ヨーロッパで分野は教育分野のボランティアをしたい。
対応内容	海外ボランティアを行っているNGOをいくつか紹介する。紹介したNGO(日本国際ワークキャンプ、JICA、地球の歩き方、IYEOなど)また、相談員がヨーロッパに長いた経験があるため、ヨーロッパのボランティア事情を話す。また札幌国際プラザでもヨーロッパに長いた人がいたので情報をきき提供した。

標題	国内ボランティア
相談内容	海外にはなかなか行けないが、国内でできる国際協力を行いたい
対応内容	国内でできる国際協力も多く、フェアトレードや、寄付、物資支援など様々な形があることを紹介した。また、国内で行われている途上国の受け入れ事業や、NGOのサポート活動について説明をした。また、国内で海外ボランティアとの環境保全や、福祉活動をしているNGO・NPOについても情報提供を行った。

標題	緊急援助について
相談内容	ヨルダン国内のシリア難民の支援についてどうしたらいいか知りたい
対応内容	2011年からの内戦で、今や10人に一人がシリア難民と言われる状況にあって、難民支援は大きな課題になっていることを説明した。一方で、ホスト国であるヨルダンも苦しい状態が続いており、双方の支援が課題となっていることについて説明をした。また、難民に関する情報として、条約難民と、難民キャンプ地から更に第三国に定住を進める動きなど、世界の人道支援の状況についても紹介をした。